

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|--------------------|------------|-----------|
| 事業所番号 | 1278400096 | | |
| 法人名 | 医療法人 美篤会 | | |
| 事業所名 | グループホーム安房穂 | | |
| 所在地 | 千葉県南房総市和田町仁我浦19番地7 | | |
| 自己評価作成日 | 平成22年1月20 | 評価結果市町村受理日 | 平成22年4月1日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://kaigo.chibakenshakyo.com/kaigosip/Top.do |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|---------------------|--|--|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 日本高齢者介護協会 | | |
| 所在地 | 東京都港区台場1-5-6-1307 | | |
| 訪問調査日 | 平成22年2月26日 | | |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

明るく家庭的な雰囲気の中で、入居者一人ひとりが、自立心を保ちながら自分らしく安心して、安全に暮らし続けられる様な、環境づくりや支援を大切にしています。又地域との交流を大切にしながら、認知症サポーター養成講座や介護相談などを通しての地域貢献に取り組んでいきたいと考えます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

1. 運営理念に加えて、個人の尊厳とプライバシーの保護を基調とする倫理綱領10ヶ条を踏まえつつ、利用者一人ひとりがその日その日を和みの中で安心して安全に暮らし続けることが出来るように真摯に介護に励んでいます。
2. 個浴設備とは別に、新潟県産出の「トゴール・ウオームタイト」(ミネラル等を含有する溶解性風化鉱石)を使用した温泉浴場を備えており、ホームだけでなく隣接のデイサービスにも各種疾病改善のほか、心身のリラックス効果がある入浴サービスを提供しています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 |
|----|---|----|--|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) <input type="radio"/> | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) <input type="radio"/> |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) <input type="radio"/> | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) <input type="radio"/> |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) <input type="radio"/> | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) <input type="radio"/> |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) <input type="radio"/> | 66 | 職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12) <input type="radio"/> |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) <input type="radio"/> | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う <input type="radio"/> |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) <input type="radio"/> | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う <input type="radio"/> |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) <input type="radio"/> | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|-----|---|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 「グループホーム安房穂は、地域の方との触れ合いと助け合いを大切に、入居者の安心と安全を第一に考え、心から家族と思える介護に専念する事とする。」との理念を掲げ全職員で共有し実践に努めている。 | ホーム独自の理念の実現に向けて日々の介護が実践されているかどうかを月1回開催の職員会議で確認し、理念の共有化を図っています。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 地域の商店での買い物や散歩などでの挨拶や会話を通し顔馴染みの方が増え、小学校の運動会や幼稚園のお遊戯会の誘いを頂き交流を持つ事が出来ている。 | 病院中心の複合施設として町内会に加入しており、夏祭り等の行事に参加しています。小学校運動会の見物、小学生の認知症理解のためのホーム見学、ボランティアによる習字指導等、地域との交流も進んでいます。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 認知症サポーター養成講座の開催の他、今後も予定している。地域の小学校の校長先生、教頭先生に、また、区長、民生委員、老人会会長の運営推進委員の方々に認知症についての話をさせて頂いた。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 開催時、報告を行うと共に、意見交換をし、頂いたアイデアや意見を取り入れて実践につなげている。 | 外部から家族、区長、民生委員、老人会、地域包括支援センターの参加を得て過去3回開催され、利用者の状況、地域交流の進め方、評価結果報告と改善課題について話し合い、その結果をサービス改善に活かしています。 | |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 運営推進委員である、地域包括支援センターの主任介護支援専門員への連絡や相談を行い日頃から、協力をいただいている。 | 安房地区「GH管理者の集い」の認知症勉強会などで緊密に連携している地域包括支援センターに加えて、介護保険更新手続きのため高齢者福祉課など、必要に応じて市担当課とコンタクトし、相談等を行っています。 | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 全職員が理解しており、安全に過ごして頂く為に見守り、声掛け、寄り添い等の工夫により、身体拘束をしないケアを実践している。 | 県主催身体拘束排除の外部研修を受けると共に、倫理綱領10ヶ条の精神に則りつつ、マニュアルに沿って介護に従事しています。止む無き場合には、例外3原則により家族の同意を得ます。玄関等は施錠していません。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 千葉県高齢者権利擁護・身体拘束廃止研修を毎年受けており、今年度は基礎課程及び専門課程に3名の職員が参加し、ミーティングの際に報告をして全職員で共有し、日々注意を払っている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|--|--|--|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 千葉県高齢者権利擁護・身体拘束廃止研修の受講の他、地域で開催された権利擁護研修に参加している。現在、必要とされている方は居ないが、施設内にパンフレットを置いている。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | その都度、十分に説明をし了承して頂いている。 | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 日常的に入居者や家族へ意見や希望を伺うと共に便りの発送時コメントを入れている。また、運営推進会議の際にも意見交換をしている。 | 家族の面会時や本人の容体急変時に意見や要望を聞いています。運営推進会議においても家族が意見等をオープンに出せるように努め、意見交換を通して運営に活かしています。 | 今回の家族アンケートで示された家族の意向や意見への対応について、まずホーム内でみんなで話し合って対策を考え、運営に活かすことが望まれます。 |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 日々の勤務の中で意見や希望、アイデア等を聴き、意見交換をすると共にミーティングの際には活発な意見交換がなされて前向きに取り入れている | 月1回の職員会議において職員から率直に提案等を出してもらったり、年1回の職員面接時や日常の申し送りの際に意見等を聞いたりして、出された意見や提案を積極的に運営やサービスの改善に採用しています。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 職員のやる気を大切にしてくれ、職員個々の状況を良く把握していると共に、職場環境・条件の整備をしている。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 日々の勤務との調整で可能な限り、外部研修への参加や法人内部での研修の機会を設けている。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 安房地域のグループホーム管理者の集いを定期的に開催している他、相互の職員の交流研修や認知症ケアの講習会、困難事例等、認知症ケアについての勉強会を行い共に向上を目指している。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------|-----|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 寄り添いや見守りを通しての本人の気持ちを察しての気配りの他、会話の中から本人の思いや要望を聴き、受け止めるようにしている。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 入居の相談を受けた時点から家族の思いや相談等、何でも話して頂ける様な雰囲気作りを心掛けて聴くようにしている。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 本人と家族が必要としている事に目を向け相談を行っている。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 常に寄り添いながら、共に過ごす意識で接し、食事作りや洗濯、掃除等、日常生活の中から互いに支え合って、気軽な会話や笑顔の多い毎日となっている。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 日頃本人の様子を伝えて相談しながら協力し合いながら、支援すると共に、面会の際には一緒にお茶をしながら談笑したり交流を持つ事が出来ている。 | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 家族の他、兄弟姉妹や近所の方、親しい方の面会が得られており、職員は本人との関係を把握する事で会話の仲立をしたり、触れ合いを大切にしている。 | 友人や知人が2～3ヶ月に1回程度来てお茶を飲みながら談笑したり、地域内に住む親戚が1ヶ月に1回くらい面会に来訪しています。又、馴染みの近くの海岸へ散歩したり、近所のミニスーパー等へ出かけたりしています。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 一人ひとりの個性やその時々々の状況を把握して安心して交流し合える様に座席の工夫や関係調整に配慮した声掛けを行うと共に、利用者同士の自然な関わりを大切にしたい見守りを心掛けている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | いつでも相談等に対応出来る事を説明している。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 職員はパーソンセンタードケアを常に心掛けて、一人ひとりの思いや希望を聴く事と共に、本人の様子に合わせて、本人の立場に立った意向を組むようにしている。 | 入居時やその後の日常ケアの中から情報収集し、利用者の希望等を理解して気持ちよく過ごしてもらえるよう支援しています。困難な場合も、特に声掛けは「ゆっくり」を原則に、常に利用者の様子に合わせて対応することに努めています。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 一人ひとりの人生歴や暮らしぶりを本人や家族から聴いている。センター方式を活用して記入している。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 一人ひとりの行動や言動を細かく捉えると共に毎日の健康状態の確認をして個別介護記録に記入及びセンター方式を活用して全職員が把握するようにしている。 | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 本人や家族の意向を聞き入れながら話し合い、本人本位の介護計画の作成を心掛けている。 | 計画作成担当者は、管理者が作成した利用者・家族の状況報告書を踏まえて本人の状態や意向等を評価し、主治医の意見や、現場職員のアイデア等を加味して、入居後2週間単位で介護計画を作成します。モニタリングは3ヶ月毎に行います。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 本人の暮らしの様子と支援者の関わり(職員・家族等)、気付いた内容を個別介護記録に記入すると共に、申し送りにより職員間で共有し実践に繋げている。また介護計画の経過の把握と見直しに活用している。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 必要に応じて取り組んでいきたい。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 身近な方々の協力や学校、病院、社会福祉協議会、地域包括支援センターなどの協力を得ながらイベントなどに安全に参加する事ができ、多くの楽しみを感じながら暮らす事の支援を行っている。 | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 本人、家族の意向に沿ったかかりつけ医での継続的な受診で主治医との連絡、相談を行っている。 | 隣接病院が担当医となっている利用者は、定期的または希望時に通院、または往診を受けています。歯科、整形外科、耳鼻科等も同病院で受診し、心療内科など遠くの病院の場合も職員や家族が付き添って適切に通院支援しています。 | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 体調の変化の気づきを看護職に報告、相談して必要な手当てと早期受診に繋げる事が出来ている。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院中は医療機関との情報交換や相談を密にして、本人にとって良い状態に繋げるようにしている。急性期を過ぎた場合等、早期退院の受け入れを心掛けている。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 入居時に確認すると共に施設での可能な支援について説明し家族の意向を確認すると共に、随時確認しながら主治医等関係者と相談して、医療機関への入院や施設での見取りの支援を行っている。 | 入居時に医療行為を伴わないことを条件とした終末期対応の同意書を交し、更に終末期に及んで再度家族と確認しています。酸素吸入、点滴による水分補給など「ホームで対応できる条件」の下、主治医からの説明と協力を得ながら、家族に泊まって貰うなどして、過去2名最期まで看取りました。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 対応マニュアルを作成し実践に備えている他、日々の勤務の中で看護師の指導を受けることで実践しているが、定期的な訓練とはなっていない。 | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 災害対策マニュアルを作成している。また定期的な避難訓練を近隣の協力病院や託児施設と実施し、避難方法を身につけると共に、協力体制を築いている。 | 消防署立会いの防火訓練と隣接病院及び託児所との合同自主避難訓練(夜間想定を含む)を夫々年1回実施しています。10名近い病院夜勤者との協力、複数の防火管理者連携体制が整い、防災マニュアル等も備わっています。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 常に尊厳の意識を持って周囲の方への配慮をしながらの対応を心掛けている。地域的な方言での会話時にも注意を払うように努めている。 | 呼掛けは苗字を「さん付け」で、方言も大事にして、人格や誇りを損ねないコミュニケーションの徹底に努めています。日中は玄関の鍵を開けており自由に外に出ることが出来ます。また、トイレや入浴中も他者から見えないよう工夫しています。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 個々のペースを大切にし、その時々々の状態を見極めて本人が理解出来る様な声掛けやジェスチャーを行い、思いや希望、意思を受け止めるように実践している。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 暮らしの主体を利用者との意識で希望に沿った過ごし方が出来るように柔軟な対応を実践している。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | その人らしさを大切にして、個々の状況に合わせたアドバイスや介助を行っている。本人の希望の物や似合う物の準備や理・美容など、希望に沿った支援をしている。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 個々の嗜好の把握をし、献立作りに希望を取り入れ、食材の買い物、調理、盛り付け、配膳、下膳、食器洗い、食器拭きなど、個々が出来ることに向け支援している。職員は和やかな雰囲気配慮して、一緒に食事をしている。 | 週2～3回外出可能な2名の利用者と職員とで翌週分の食材を買いに行っています。朝夕の食事は隣接病院作成の献立表をもとに作られ、昼食は皆の希望を募ったメニューとし、利用者と共に調理から片付けまで一緒に行う支援がされています。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事や水分の摂取量を都度確認すると共に、記録をして職員間で共有しながら、必要な量が確保出来る様に、声掛けの工夫や、調理や水分の形態、提供回数などの工夫をして支援している。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 起床時や食後の歯磨きや義歯洗浄などの口腔ケア本人の状態に合わせた声かけや介助をしている。就寝前には義歯を洗浄液に浸している。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 一人ひとりの自立心を大切にし、本人の尿・便意に合わせた支援や、排泄表を活用してパターンを掴みながらの声掛け、本人の習慣からの排泄のサインを掴み、本人の能力に応じた見守りや介助を行っている。 | 利用者の排泄パターンを把握し、さりげなくトイレ誘導しています。自立者以外は、オムツでなくリハビリパンツを使用し、トイレを利用する方向で排泄改善が促されています。トイレは、スペース確保の為ドアを外してカーテンで対応し「使用中」の札が掛けられています。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 便秘についての理解は概ね出来ており、食事、水分、運動、排泄のタイミング、腹圧をかけ易い姿勢の工夫など個々に合わせた支援を行っている。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている | 体調や衛生面に配慮しながら、本人の希望に沿っての入浴を行っている。拒否が見られる場合には本人の状況に合わせた声掛けの工夫などをしてタイミングを掴んで支援している。 | 毎日午後1時半から入浴出来ます。利用者の希望を聞き1日おきの入浴ですが、心臓に負担がかかる人や全身状態の低下した体調不良の場合は2日おきで対応しています。全く入りたがらない場合は顔を拭くなどの清拭で対応しますが、現在対象者はありません。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 本人の希望や体調に合わせて、休息や午睡などと共に、個々に合わせた就寝時間で対応している。また夜間の見守りや体位変換介助などで安楽の支援の他、日中の外気浴や活動を心掛けている。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 受診の際に医師に確認すると共に、処方された薬剤の説明書の確認、保管をしている。服薬時には本人確認及び薬の確認をして服用の支援をしている。症状の観察により状況の把握に努め、医師に報告している。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 一人ひとりの生活史から得た情報や日頃の様子から、家事活動の他、個々に合わせた役割内容を取り入れ自然に行える様な雰囲気作りをしている。好みの食べ物、飲み物の提供や好きな音楽などを時々に合わせて提供している。 | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 散歩や買い物に出来る限り出掛けられるように努めている他、ドライブ、外食、初詣、花見、花火大会見物、紅葉見物、地域の納涼祭や催しへ参加して喜ばれている。 | 散歩希望者は冬でも近くの海岸へ車や徒歩、車椅子で出かけたり、時にはホームの傍や、病院の屋上でお茶をするなど、利用者満足をもたらす外出支援がされています。また、館山の神社初詣、丸山の菖蒲見物などの遠出や鴨川の回転寿司などでの外食支援もしています。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 一人ひとりの家族の了解のもと、個々の能力に合わせて、所持し、使用できる支援や支払い時の見守りなどの支援などを行っている。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 本人の希望に沿って支援している。 | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 其々に清潔保持に努め、空調や明るさなどに配慮し日用品や生き物、植物などで、生活感、季節感を感じられるように工夫している。又、声の大きさやテレビ、音楽の音量に配慮して居心地の良い場所の提供に努めている。 | 玄関内に沈丁花の花器が設えてあり、他の共用部分も自然光や照明で明るく、清潔に保たれています。昼食時にはTVを止め、安らぎの音楽を聴きながら食事を楽しんでいます。居間や廊下には、内裏雛、絵画などが飾られ、生活感や季節感が十分感じられます。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 好きな場所で過ごせるように椅子を置くなどしている。 | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 本人の持ち物は本人の好みの物や使い慣れた物を持参していただき、思い思いの配置で使用している。 | 居室には、使い慣れたベッド、籐椅子等の家具やTV等の家電品、馴染みの壁掛け時計、飾り棚などが持ち込まれています。壁には思い出の写真や家族一同の写真、習字作品等が掛けられ、快適に暮らせるように配慮されています。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 居室に表札を下げて自分の部屋がわかるようにしている他、トイレなど目印となる物を下げて混乱の防止に努めている。また、掃除用具などはいつでも使用できるようにしている。 | | |